

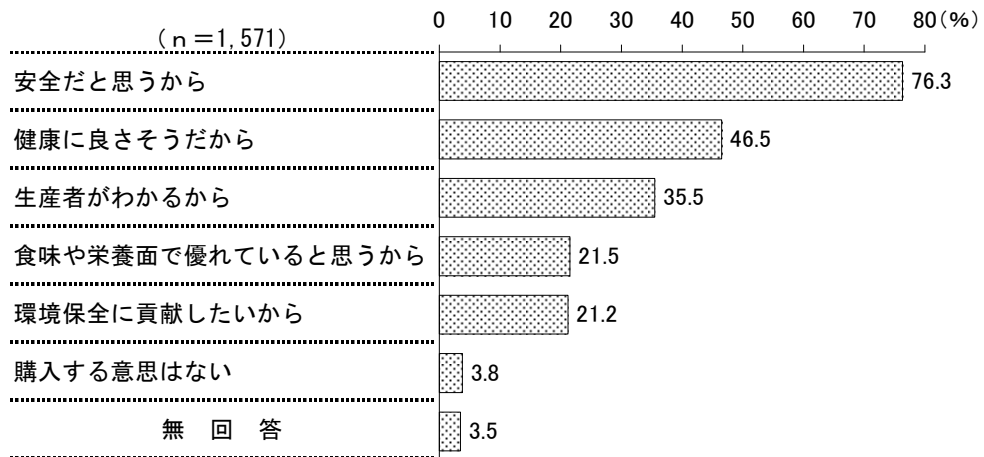
8 「環境にやさしい農業」について

(1) 環境にやさしい農産物を購入する理由

◇「安全だと思うから」が7割台半ば

問29 あなたが、ちばエコ農産物、エコファーマーや有機農産物などの環境にやさしい農産物を購入するとした場合、その理由は何ですか。(〇はいくつでも)

<図表 29-1> 環境にやさしい農産物を購入する理由



環境にやさしい農産物を購入する理由を聞いたところ、「安全だと思うから」(76.3%)が7割台半ばとなっており、以下、「健康に良さそうだから」(46.5%)、「生産者がわかるから」(35.5%)などが続く。(図表 29-1)

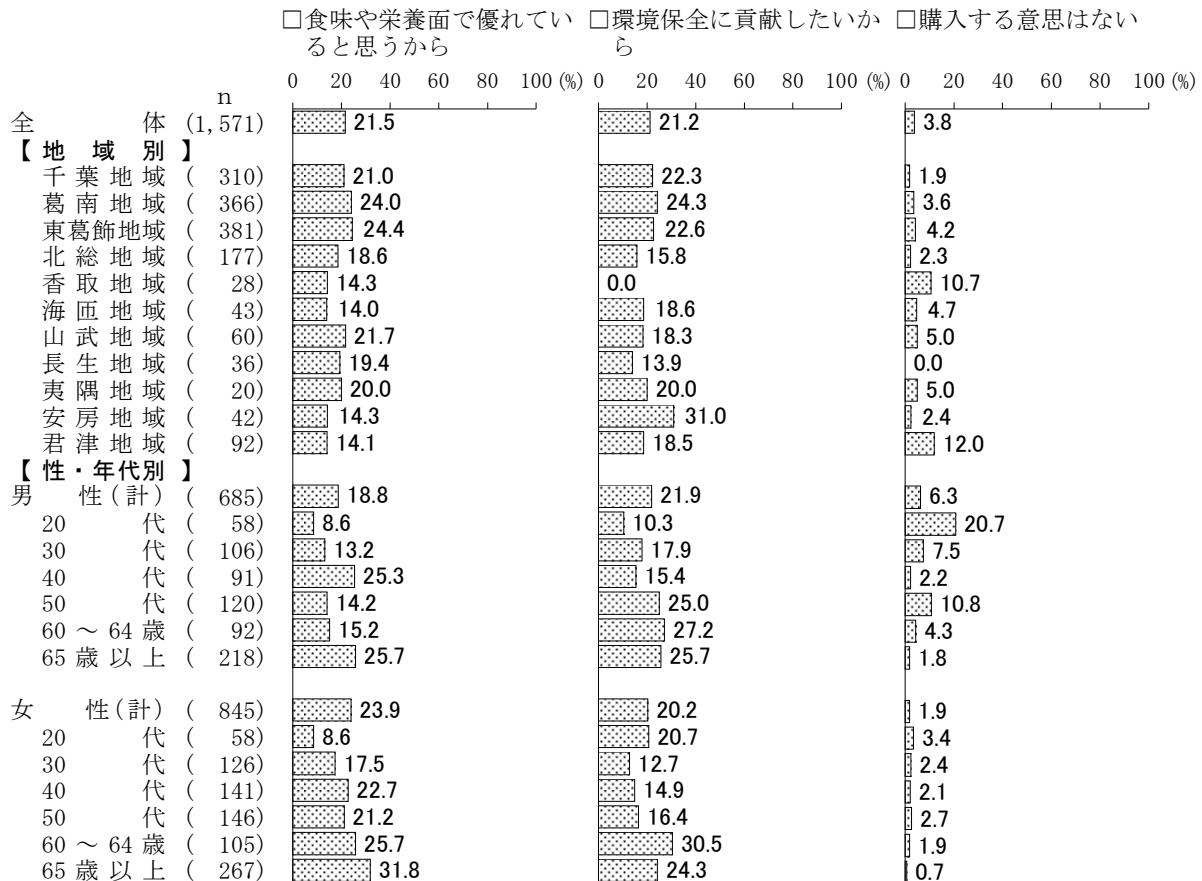
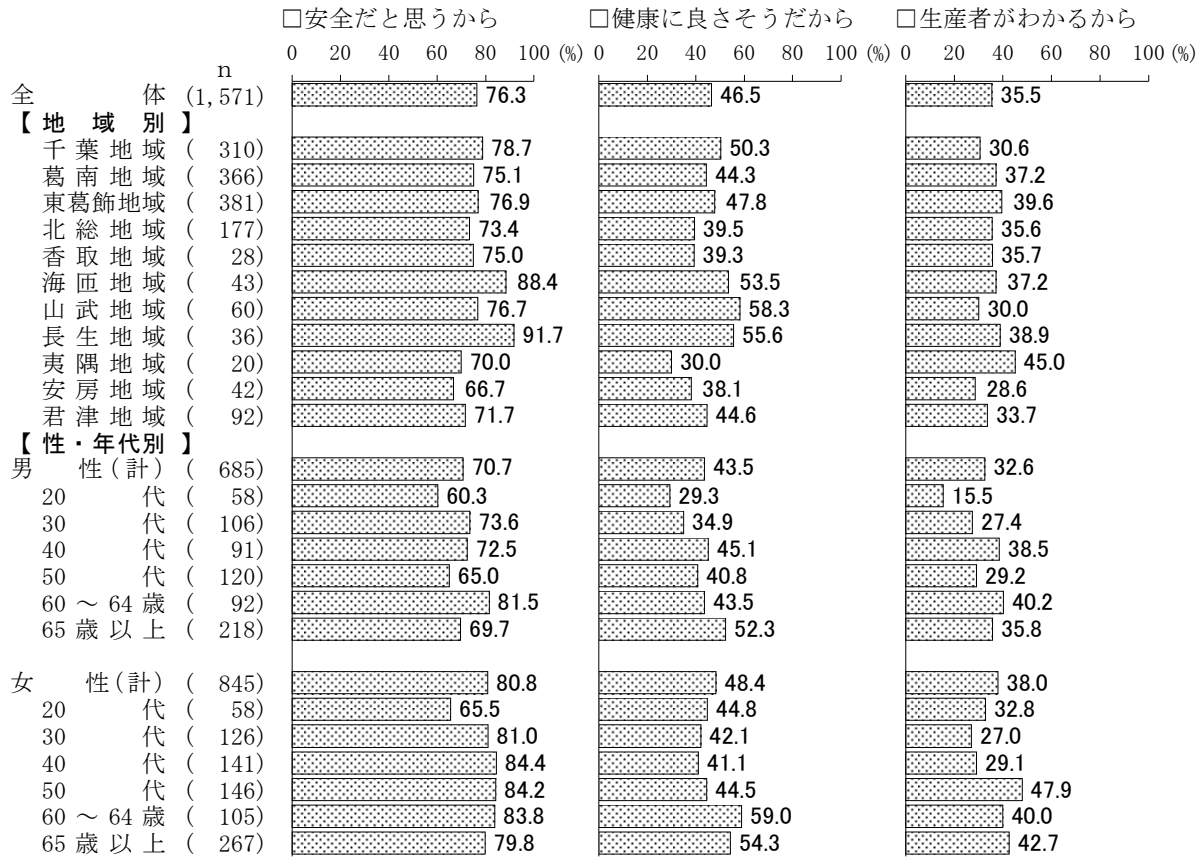
【地域別】

地域別にみると、「安全だと思うから」は“安房地域”(66.7%)を除くすべての地域で7割以上と高く、“長生地域”(91.7%)で9割を超えている。(図表 29-2)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「安全だと思うから」は女性30代以上のすべての年代で8割前後と高くなっている。「健康に良さそうだから」は女性60~64歳(59.0%)で約6割、「生産者がわかるから」は女性50代(47.9%)が約5割で他の年代に比べて高くなっている。(図表 29-2)

<図表 29-2> 環境にやさしい農産物を購入する理由／地域別、性・年代別

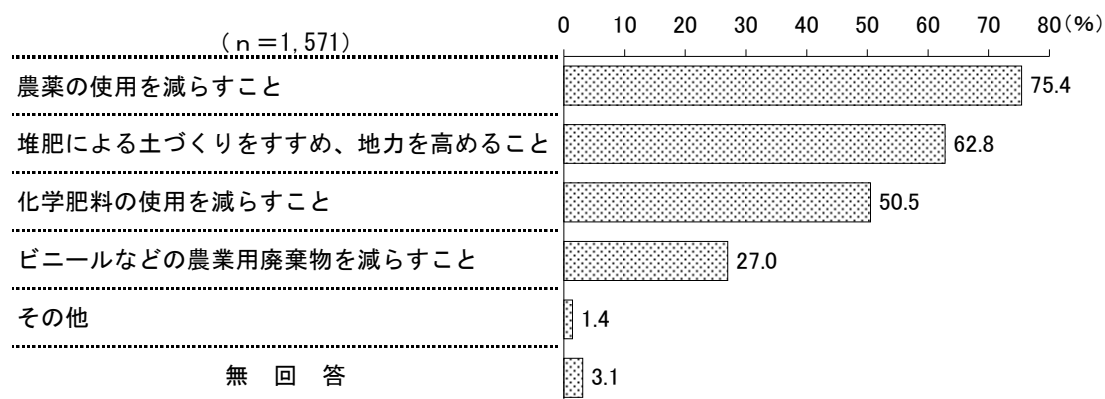


(2) 環境にやさしい農業を進めるために重要なこと

◇「農薬の使用を減らすこと」が7割台半ば

問30 「環境にやさしい農業」を進めるために、あなたが重要だと思うものはどれですか。
(○はいくつでも)

<図表 30-1> 環境にやさしい農業を進めるために重要なこと



環境にやさしい農業を進めるために重要なことを聞いたところ、「農薬の使用を減らすこと」(75.4%)が7割台半ばとなっており、以下、「堆肥による土づくりをすすめ、地力を高めること」(62.8%)、「化学肥料の使用を減らすこと」(50.5%)などが続く。(図表 30-1)

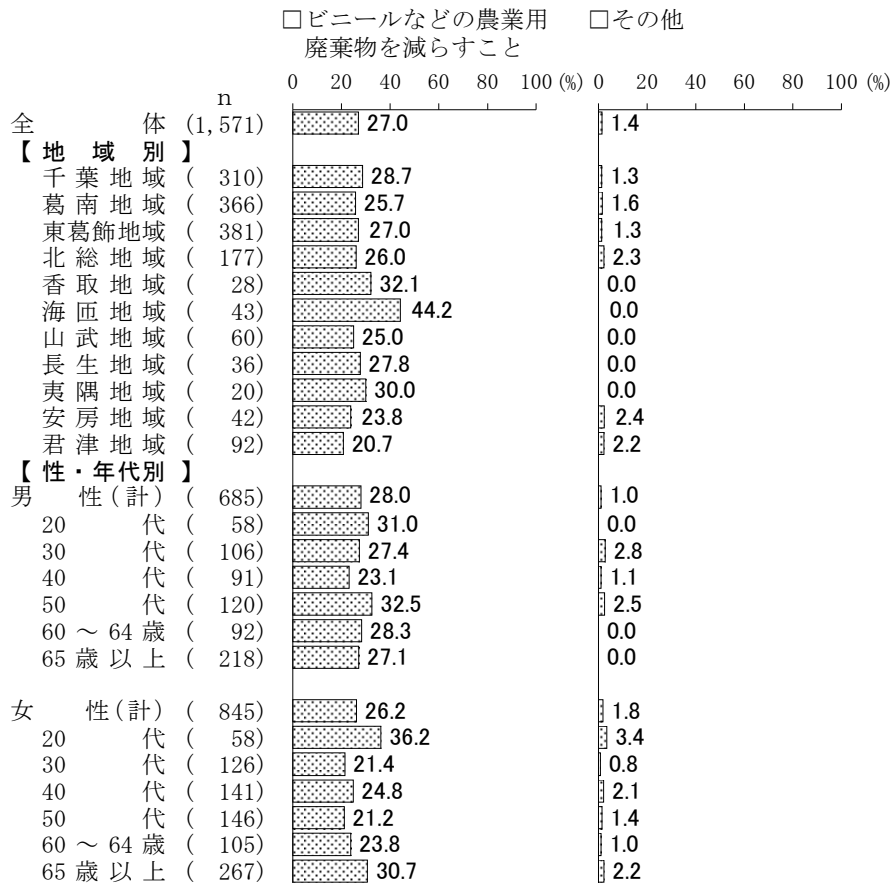
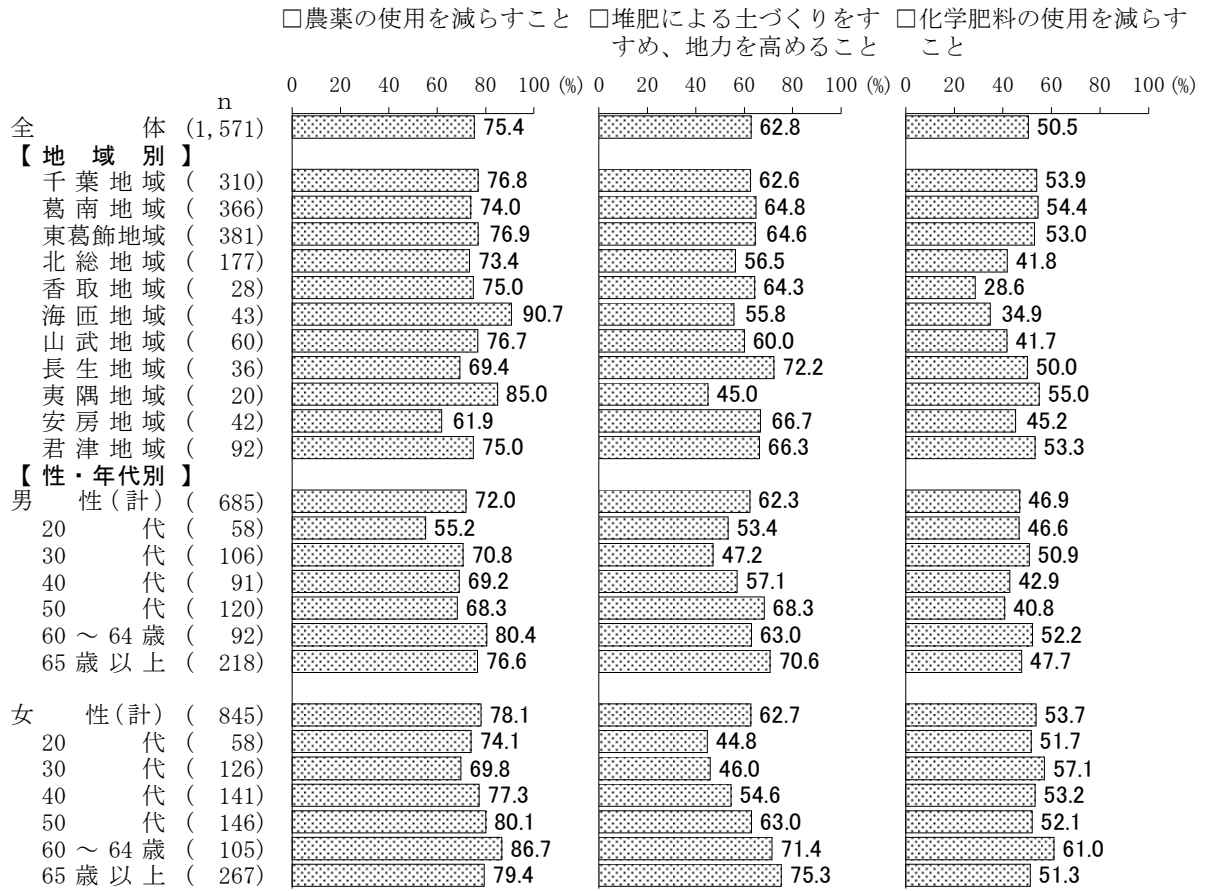
【地域別】

地域別にみると、「農薬の使用を減らすこと」は“海匠地域”(90.7%)が9割で他の地域に比べて高くなっている。「堆肥による土づくりをすすめ、地力を高めること」は“長生地域”(72.2%)が7割を超え、「ビニールなどの農業用廃棄物を減らすこと」では“海匠地域”(44.2%)が4割台半ばで他の地域に比べて高くなっている。(図表 30-2)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「農薬の使用を減らすこと」は女性60～64歳(86.7%)が8割台半ばで他の年代に比べて高くなっている。「堆肥による土づくりをすすめ、地力を高めること」は女性65歳以上(75.3%)が7割台半ばで他の年代に比べて高くなっている。(図表30-2)

<図表 30-2> 環境にやさしい農業を進めるために重要なこと／地域別、性・年代別

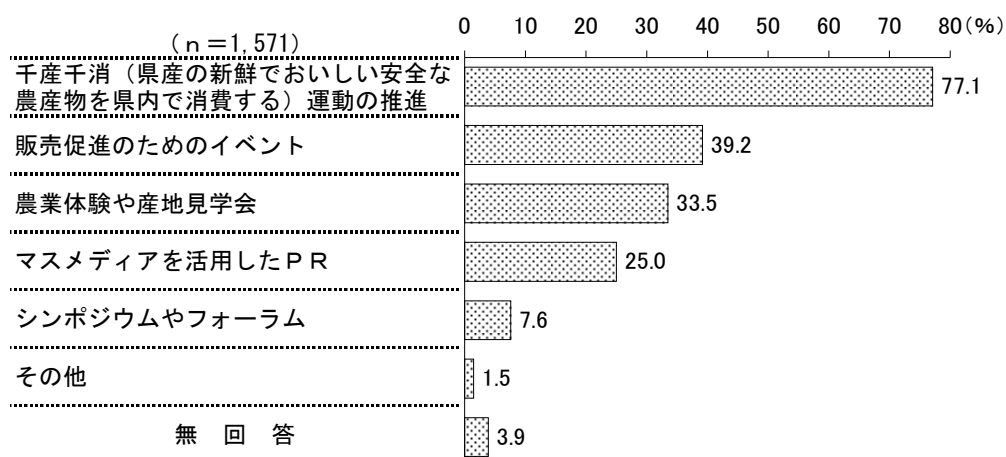


(3) 環境にやさしい農業への取り組みの理解を深めるために必要なこと

◇「千産千消（県産の新鮮でおいしい安全な農産物を県内で消費する）運動の推進」が約8割

問31 「環境にやさしい農業」への取り組みを理解してもらうために、どのような活動が必要だと思いますか。（○はいくつでも）

<図表 31-1>環境にやさしい農業への取り組みの理解を深めるために必要なこと



環境にやさしい農業への取り組みの理解を深めるために必要なことを聞いたところ、「千産千消（県産の新鮮でおいしい安全な農産物を県内で消費する）運動の推進」（77.1%）が約8割となっており、以下、「販売促進のためのイベント」（39.2%）、「農業体験や産地見学会」（33.5%）などが続く。

（図表 31-1）

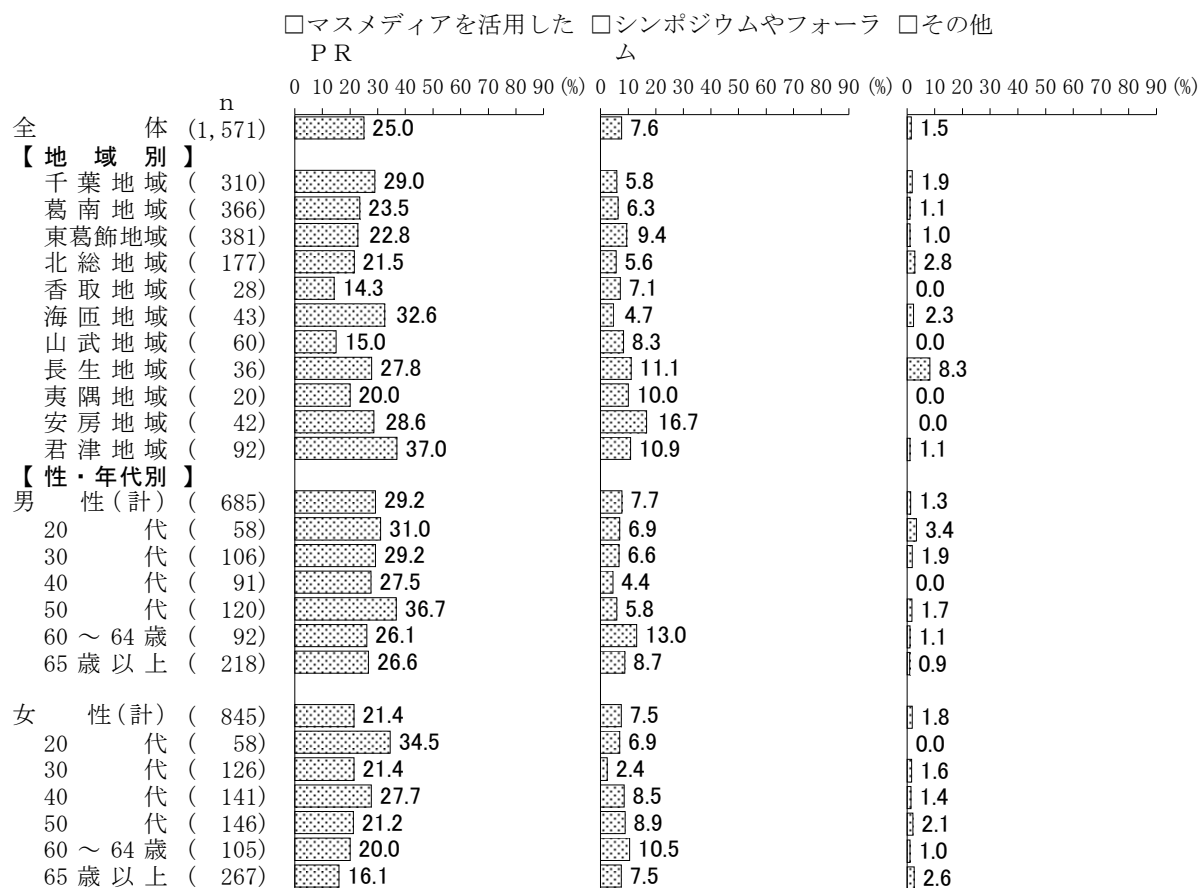
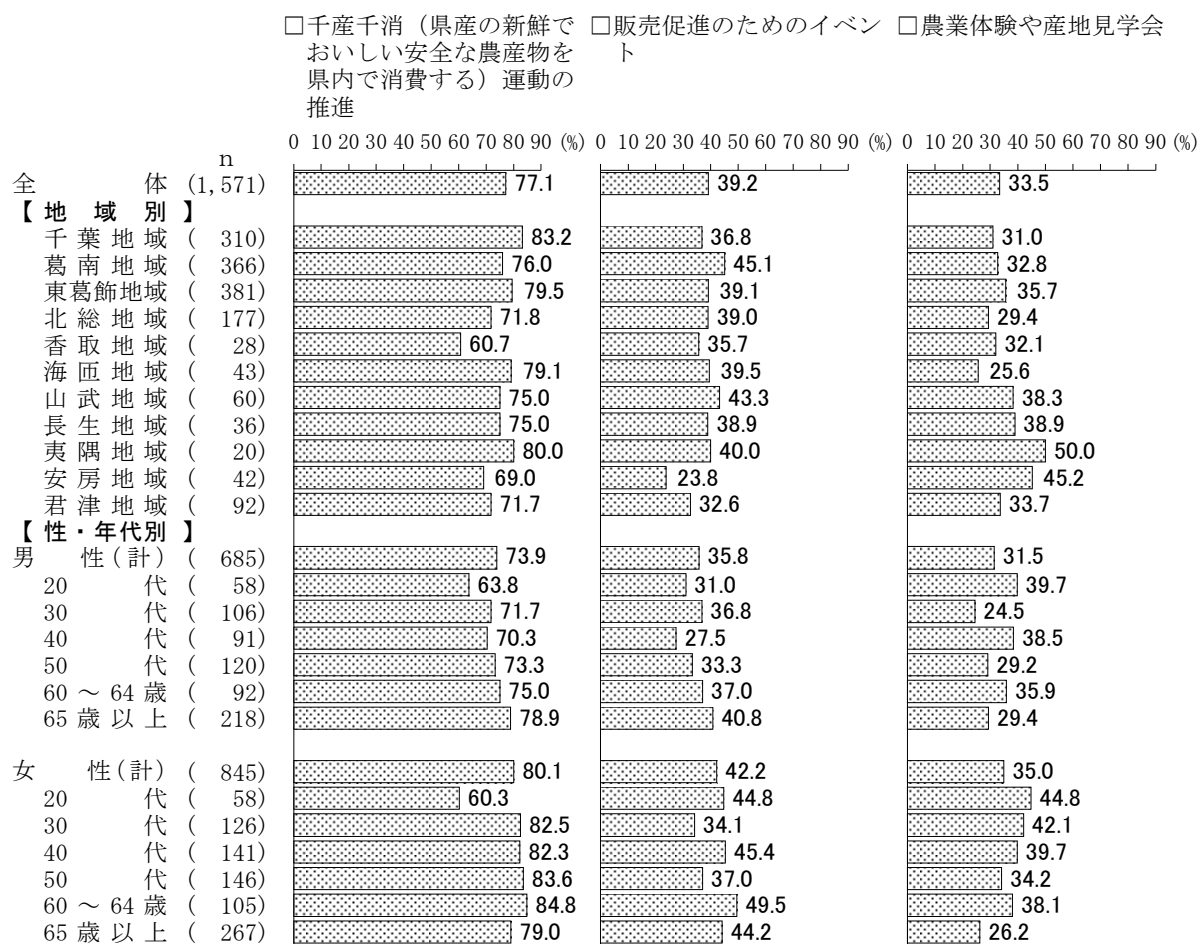
【地域別】

地域別にみると、「千産千消（県産の新鮮でおいしい安全な農産物を県内で消費する）運動の推進」は“千葉地域”（83.2%）が8割台半ばで他の地域に比べて高くなっている。「農業体験や産地見学会」は“夷隅地域”（50.0%）が5割と高くなっている。（図表 31-2）

【性・年代別】

性・年代別にみると、「千産千消（県産の新鮮でおいしい安全な農産物を県内で消費する）運動の推進」は男女ともに30代以上の年代で7割以上と高く、いずれの年代においても女性の割合が男性を上回り、女性60～64歳（84.8%）で8割台半ばとなっている。（図表31-2）

<図表 31-2> 環境にやさしい農業への取り組みの理解を深めるために必要なこと／地域別、性・年代別



このほかに、「『環境にやさしい農業』について」やここまでの質問（問29～問31）について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、84人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載するものとする。

■ 「『環境にやさしい農業』について」の自由回答(抜粋)

- 大手スーパーの野菜が、形にこだわる為、あまりにも高い！！食べ物は味です。もっと消費者がかしこくなり本当に体に安全な野菜を作って欲しいです。旬のわかる野菜を売ってほしい。旬でないのなら店頭になくてあたりまえです！！（女性・40代・千葉地域）
- ちばエコ農産物をわざわざ選んで買わせるのではなく、農業すべてをエコ農法にするように徹底すべきではないでしょうか？地球にも人体にも安全な農法でなければいけないのはあたり前のことなので。（男性・50代・東葛飾地域）
- 無農薬、有機農業を行っている農家の販路拡大への支援。NPO等の法人、団体の農地取得や農家から賃借して環境配慮型の農業を行うための行政支援。（男性・50代・葛南地域）
- かけ声だけでは何もはじまらない。問29のマークなどもさっぱりわからない。もっと具体的に実際にやっている農業の実態を県民に知らせるべきでしょう。（男性・65歳以上・葛南地域）
- 良いとは思いますが、何事でも「環境にやさしい…」が付くとどうしても手間がかかり、コストに反映されてしまうというイメージがあります。この辺の考え方を切換えられる（何かとの比較等）きっかけがあればと考える事があります。（男性・40代・東葛飾地域）
- 安易に「環境にやさしい農業」とうたうことはせずに、農家の方々の負担を減らしながら徐々に進めてもらいたい。（女性・20代・千葉地域）
- どこで何を作っているか、千葉でこんなものを作っている！など、知らない事が多い。自分はラジオ（BAY-FM）でイベント情報などを聞いて、農産物や漁業のイベントを知ることが多い。やはりメディアの力は大きいと思う。地元のTV・ラジオ・フリーペーパーなどを使って、まずは知ってもらうことが大切。（女性・20代・千葉地域）
- 現在、休耕している農地等を農家の人の協力を得て都会の人達に野菜作りを積極的に呼びかけていったらどうかと思う。（女性・60～64歳・長生地域）
- 千葉県産の農産物をあつかう店が少ないと思う。千産千消したくてもスーパーに売っていないので買えない。千葉のスーパーには、優先的に千葉県産をとりあつかう様にするべきです。（女性・40代・千葉地域）
- 低農薬や有機栽培についてもっと子どものうちから意識させることが必要だと思うが、家庭によって考え方は全く違うのでどこかで教える・意識させる機会をつくるべきだと思う。（女性・50代・東葛飾地域）